

平成30年度
福祉職員アクティブ・ワーキング研修【一般職員編】
～ 一味ちがう若手・中堅になるために ～

- 1 目的 福祉職場において、組織が活性化していくためには、何よりも職員一人一人が積極的（アクティブ）に取り組む姿勢が重要です。
この研修では、
①日常業務を振り返りながら現状を認識する
②なりたい自分に近づくための道しるべを探す
③やる気をコントロールし、日常で実行できる改善のヒントを学ぶ
ことにより、職員のやる気を高め、行動の変化を促し、新たな能力の発揮を図ります。
- 2 主催 (福) 富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ
- 3 対象者 社会福祉法人、社会福祉施設等の従業者で入職後概ね3～10年の職員
- 4 定員 60名
(・定員を上回る申し込みがあった場合、抽選による人数調整を行います。先着順ではありません。)
- 5 開催日 平成30年5月22日(火)
- 6 会場 富山県総合福祉会館(サンシップとやま) 研修室 602-604
富山市安住町5-21
- 7 申し込み 別紙申込書に必要事項を記入のうえ、平成30年4月13日(金)までに、FAXまたは郵送でお申し込みください。
※ 福祉カレッジホームページ(<http://www.toyama-shakyo.or.jp/tfcollege/>)の利用登録済みの施設等は、ホームページから直接申込できます。
- 8 受講決定 平成30年4月23日(月)までに、受講決定通知を発送します。
- 9 受講料 受講料6,000円(資料代含む)
※ 受講料については、研修初日に受付で申し受けます。
- 10 その他
(1) 受講者には、簡単な事前アンケートを提出いただきます。
受講者は、福祉カレッジホームページにアップされた様式に入力の上、5月7日(月)まで(必着)に、カレッジへE-mailにて提出いただきます。
(2) 研修申込書等にご記入いただいた個人情報、福祉カレッジの研修事業以外の目的には使用しません。

11 問合せ先 富山県福祉カレッジ（担当：石黒）
 E-mail : college@wel.pref.toyama.jp
 TEL : 076-432-6513 FAX : 076-432-6516

12 研修プログラム

時 間	プログラムと主な内容	講 師
9 : 00		(株)インソース 酒井 衣子 氏 産業カウンセラー キャリア・コンサルテ イング技能士2級 心理相談員
9 : 25	オリエンテーション	
9 : 30	1【講義・ワーク】 はじめに～福祉職員に求められる能力	
10 : 00	2【講義・ワーク】 多面的に考える～立場を変えて考える ★業務経験の棚卸、現状認識 ・あなたが上司・先輩だったら あなたが後輩だったら ・自分を振り返る ・グループで共有～お互いの「得意なこと」「困りごと」	
11 : 30	3【講義・ワーク】 自己改革を徹底するためのモチベーション ★モチベーションコントロールを学び「自己改革意識」を芽生えさせる ・「折れない心」をつくる ・考え方と行動のパターン ・なぜアサーティブになれないのか ・得られるもの・失うものを理解する ・自分の良いところを素直に認める ・失敗してもすぐ「復活」する	
12 : 00	・なりたい職員像を考える	
	<昼食・休憩>	
13 : 00	3【講義・ワーク】つづき	
14 : 30	4【講義・ワーク】 現状に満足せず身の回りの改革に挑戦する ★「自己」の改革意識を「周囲」へ発信する ・小変活動への取組み 6つのルール ・身近な「もう少し」とその原因を考える ・他の業界だったらどうなるか？を考える ・「もう少し」をどう変えていくか？小変への取組み	
15 : 30	5【講義・ワーク】 「一人の取組み」を「組織の取組み」にする ・上司や同僚、後輩を巻き込む力 ・周囲を納得させるための目標設定 ・目標を達成するために必要な8つの観点	
16 : 10	6【講義・ワーク】 明日からの目標を考える	
16 : 30	修了証交付	

※ 時間は、目安で前後します。講師の指示により適宜休憩を入れます。